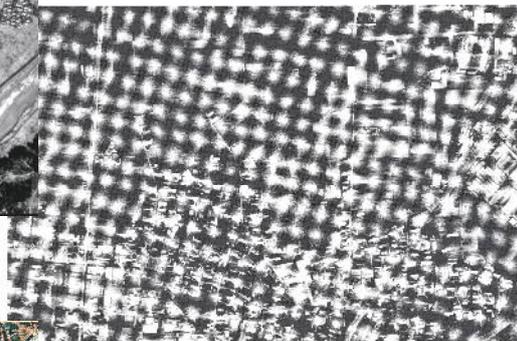
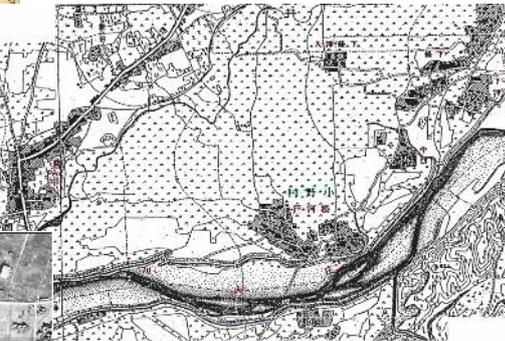
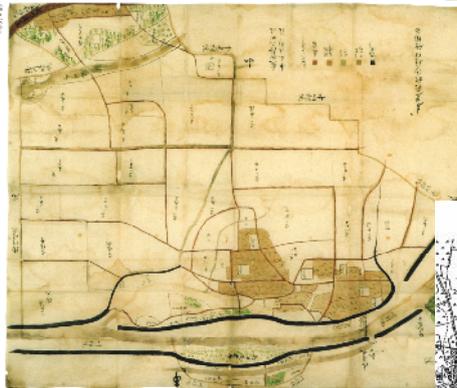


(12) 松河戸の年表

(12) 松河戸の年表



(12) 松河戸の年表

西 暦	元 号	内 容 (松河戸に関係のある主なもの)	人口	戸数
	縄文後期 5000 年前	・縄文海進の水が徐々に引き初め、松河戸の土地が現れ人が住み始める。		
	3000 年前	・松河戸の米作り始まる。この春日井地域でも早い時期から稲作耕作が発祥した。		
	弥生前期 2500 年前	・環濠集落による稲作が行われる。 ・弥生前期に環濠集落終焉(水害によると考えられている)		
	古墳時代 4～7 世紀	・春日井の庄内川沿いに中小の古墳が造られる。 ・尾張氏が「国造」として、この尾張地域を納めていた。		
645	大化元年	・大化の改新が起こる。		
701	大宝元年	・大宝律令制定、中央集権の政治体制できる。このころ班田収受法が施行される。 その後、松河戸に条里制ができ 36 町歩で始まる。(水田耕作面積 36 町歩) ・奈良大仏(752 年)ができ、各地に国分寺ができる。		
723	養老 7 年	・三世一身の法施行		
743	天平 15 年	・墾田永年私財法施行		
894	寛平 6 年	・小野道風が松河戸で生まれる。		
904 頃	昌泰 7 年頃	・小野道風 10 歳の頃父と京へ帰り書で身を立てることとなる。		
914	延喜 14 年	・安食荘成立 松河戸(石河田)は安食荘に含まれる。		
966	康保 3 年	・小野道風 73 歳で亡くなる。		
1218	健保 6 年	・小坂孫九郎が上条城を築く		
1300 年 代後半		・室町時代になると大きな荘園がくずれて、現在の村が起こり始める。 村を中心とした農業の生活、制度がこの頃から起こる。		
1394~	応永年間	・上条用水を開く、灌漑区域は上条、下条、中切、松河戸、勝川の五ヶ村		
1460	寛正元年	・上洪水により上条用水及び堤防破壊 523m		
1468	応仁 2 年	・この頃以降に安食荘は終焉を迎える		
1494	明応 3 年	・6 月十五の森の伝説を作った洪水 ・十五の森の悲話、白山神社できる。この頃あとに観音寺、昌福寺もできる。		
1584	天正 12 年	・小牧長久手の戦いが起こる。		
1588	天正 16 年	・刀狩(1588)、太閤検地(1582~1598)が行われる。		
1608	慶長 13 年	・尾張徳川藩の検地行われる。市内の 2、3 村で検地帳の写しが保管されている。		
1626	寛永 3 年	・4 月から 8 月まで一滴の雨もなく農作物不作 (水田耕作面積 36 町歩)		
1649	慶安 2 年	・2 月慶安の御触書がでる。		
1672	寛文 12 年	(1375 石) 牛馬数 31、社 6、寺 2 (尾州春日井郡覚書帳)	(641)	(110)
1686	貞享 2 年	「地検あり」と尾張徇行記に記載		
1716	享保元年	・徳川吉宗による享保の改革が行われる		
1813	文化 10 年	(1855 石) 牛馬数 13 (尾張徇行記)	(792)	(190)
1815	文化 12 年	・小野朝臣(道風)遺跡之碑が建てられる。		
1818	文政年間	・寺小屋を観音寺で開設 (瑞道和尚)		
1850	嘉永 3 年	・8 月上条、下津尾村地区で堤防破壊、松河戸村、勝川村、神領地区洪水		
1854	安政元年	・洪水により一ツ橋で堤防決壊(215m) ・12 月安政東海地震、安政南海地震が起こる。(翌年 11 月には安政江戸地震が起る)		
1855	安政 2 年	・寺小屋を観音寺で開設 (巖 豊秀和尚)		
1859	安政 6 年	・洪水により村中で堤防決壊 208m		
1867	慶応 3 年	・洪水により八反田で堤防決壊 183m ・大政奉還 (慶応 3 年 10 月、1867 年 11 月)		
1868	明治元年 慶応 4 年	・王政復古(慶応 3 年 12 月、1868 年 1 月)(慶応 4 年 9 月に明治元年となる) ・五箇条の御誓文(慶応 4 年(明治元年)3 月、1868 年 4 月) ・5 月入鹿池決壊 庄内川も 17 か所決壊、松河戸も被害受ける。 ・8 月大留村、神領村、上条村、下津尾村、志段村、松河戸、勝川地内で堤防破壊		

(12) 松河戸の年表

西 暦	元 号	内 容 (松河戸に係のある主なもの)	人 口	戸 数
1868	明治元年	私塾を観音寺で開設 (岡島佐平)		
1869	明治2年	・ 版籍奉還(明治2年6月、1869年7月) ・ 春日井郡旧松河戸村は、現在の松河戸町、愛知町、細木町、町田町、松新町、小野町の6町からなる。(名古屋藩春日井郡松河戸村) (水田耕作面積150町歩)	(660)	(190)
1871	明治4年	・ 春日井一揆が起こる。(明治3年12月 下条、中切、松河戸、下津尾の村で東方総管所へ押し寄せる) ・ 廃藩置県(明治4年7月、1871年8月)		
1872	明治5年	・ 8月学制発布(明治5年8月、1872年9月) ・ 7月勝川に郵便局(郵便役所)が開設される。 ・ 11月明治の改暦 ※明治5年12月3日が明治6年1月1日となり、12月が2日だけ		
1873	明治6年	・ 1月徴兵令布告、 ・ 7月地租改正条例の布告	(658)	(186)
1876	明治9年	・ 上条、八田新田、大光寺子新田が合併して「和爾良村(かにら村)」となる。 ・ 瀧源寺学校と改称		
1878	明治11年	・ 地租改正反対運動起こる ・ 松河戸に松河戸学校、下条に下条原学校が開設 ・ 12月春日井郡松河戸村となる。		
1880	明治13年	・ 2月春日井群が東西に分割され、東春日井郡松河戸村となる。		
1883	明治16年	・ 4月松河戸村戸長役場で「儉約決定簿」を決議する。 ・ 7月8月一滴の雨が降らず農作物不作		
1887	明治20年	・ 勝川警察署設立		
1888	明治21年	・ 松河戸で養蚕始まる。		
1889	明治22年	・ 2月大日本帝国憲法公布 ・ 10月松河戸、下条、下津尾、上中切の四か村が合併し小野村となる。 東春日井群小野村大字松河戸		(427)
1890	明治23年	・ 「松河戸学校」と「下条原学校」が合併し、「小野学校」と改称し、松河戸八反田(現在の(株)古川電機近く)に設置される。		
1891	明治24年	・ 10月28日濃尾地震(震度6、マグニチュード8.4)が起こる。松河戸にも大きな被害(松河戸死者はなし)、観音寺の衆寮堂が倒壊する。 (小野町(松河戸含む)で、死者なし、民家全潰37件、半潰114件、破損163件)		
1892	明治25年	・ 10月「小野学校」が「小野尋常小学校」と改名される。 春日井市内36の小学校で最も早く開校		
1894	明治27年頃	・ この頃、地租改正で生活苦しく、北海道などに移住する人が多くあり、明治25年から明治34年までの10年間に春日井から174名が分かっている。 当時の小野村(松河戸、下条、下津、中切)から十数戸移住あり ・ 明治27年(1894)7月日清戦争起こる。		
1900	明治33年	・ 7月名古屋から多治見間が鉄道開通し、勝川駅、高蔵寺駅ができる。 (勝川村中心から東に1キロ離れた当時の東春日井群小野村大字松河戸に勝川駅できる)(明治44年に東京まで全通)		
1904	明治37年	・ 2月に日露戦争起こる		
1906	明治39年	・ 7月小野村と和爾良村(大光寺子新田、八田新田、上条村)合併し、鳥居松村になる。(東春日井群鳥居松村大字松河戸)		
1912	大正元年	・ 国による1村1社合祀令により、松河戸の9社の祠を合祀又は境内社とし、白山神社が村社となる。		
1914	大正3年	・ 第一次世界大戦起こる。 ・ 松河戸で耕地整理が開始される。(大正12年終了)		
1915	大正4年	・ 愛知県により「小野道風公誕生地」の石碑が建てられる。		
1916	大正5年	・ 松河戸に電灯がつく。		
1923	大正12年	・ 9月1日 関東大震災(マグニチュード7.9)		
1928	昭和3年	・ 松河戸で延米の廃止をめぐる小作争議が起こる。昭和12年和解		

(12) 松河戸の年表

西 暦	元 号	内 容 (松河戸に係のある主なもの)	人口	戸数
1929	昭和4年	・12月「小野尋常小学校」が現在の「小野小学校」の現在の位置に移転する。 その時、十五の森伝説のクロガネモチも移植される。 ・10月世界恐慌始まる ・松河戸に初めてリヤカーが4台入る。(昭和3年頃) ・道風公像、財弁天像建立(9月15日除幕式)		
1930	昭和5年	・戦前までは、水田と養蚕が盛んに行われる。	(537)	(107)
1931	昭和6年	・農村不況の深刻化		
1932	昭和7年	・満州開拓団出発		
1933	昭和8年	・庄内川の流れの部分にのみ欄干のない木橋が架けられた。松河戸の渡しは廃止		
1935	昭和10年	・島共同の動力糶摺り機が入る。		
1936	昭和11年	・小野尋常小学校で県下児童生徒徒席上揮ごう大会始まる。二二六事件起こる。		
1937	昭和12年	・7月日中戦争始まる		
1938	昭和13年	・堤防と堤防をつなぐ本格的な木の松河戸橋が完成する。(自動車も通れる)		
1939	昭和14年	・8月 現在の王子製紙敷地に鳥居松工廠が作られる。		
1940	昭和15年	・部落会町内会等整備要領発令(国) ・11月10日紀元2600年祝う式典行われる。		
1941	昭和16年	・国民学校令により「小野尋常小学校」の名称が「小野国民学校」となる。 ・12月8日 日米開戦		
1942	昭和17年	・下津の渡しは、昭和14年頃まで通年運航されていたが、松河戸橋が架けられたことで昭和17年に一応廃止された。しかし、竜泉寺の節分や初観音の時など利用客が多い時は運航し1965年(昭和40)頃まで続いた。		
1943	昭和18年	・6月勝川町 鳥居松村 篠木村 鷹木村の4か町村が合併して春日井市が施行され、軍事工業都市として歩み始め、勝川の旭町の旧東春日井郡役所跡をしばらくの間、仮庁舎として使った。		
1944	昭和19年	・11月12日 国内の大家が出席し小野道風公生誕1050年祭(道風祭)が盛大に行われる。 ・12月7日尾張地方に東南海地震(震度5)起こる。松河戸で死者1名 ・12月13日名古屋に初の本格的な空襲がある。		
1945	昭和20年	・3月25日松河戸の川原島に500キロ爆弾が投下され、家屋消失(5戸)し死者(3名)の被害を受ける・5月29日にも松河戸空襲される。 ・8月14日鳥居松工廠に模擬原爆(1トン爆弾)投下 ・8月15日終戦		
1946	昭和21年	・11月3日日本国憲法公布		
1947	昭和22年	・新学制(教育基本法)が施行され「小野国民学校」は「小野小学校」となる。		
1948	昭和23年	・「松河戸新田」が松河戸から分離し、「松新」となる。 ・王子町にあった旧鳥居松工廠を修復して市役所庁舎とした。 ・5月春日井農業協同組合成立		
1949	昭和24年	・11月全国公募の書道展である道風展が始まる。		
1950	昭和25年	・朝鮮戦争特需景気 高度成長時代に入る。・第1保育園開設(王子製紙、市役所の隣) ・9月工場誘致条例施行される。 ・春日井市は、王子製紙春日井工場の誘致を機に内陸工業都市として歩み始める。		
1951	昭和26年	・市民病院が開設 ・4月マッカーサー元帥解任		
1952	昭和27年	・4月28日 対日講和条約が発効され日本は独立する。		
1953	昭和28年	・王子製紙 竣工		
1954	昭和29年	・3月松河戸の小野道風誕生伝説地が県指定文化財史跡第1号に指定される。 ・名古屋栄町丸栄7階ホールで、第6回道風展開催 戦後最初の大展覧会		
1955	昭和30年	・住民総出の奉仕活動により、当時春日井市内唯一の公園として道風公園完成する。 同時に、旧道風記念館が建てられる。		
1956	昭和31年	・市内の小中学生の寄付で「道風カエル」が道風公園内に設置される。		
1957	昭和32年	・春日井市で最初に松河戸に都市ガスが入る。 ・8月春日井市の大豪雨、長塚町、勝川町冠水、松河戸橋大破		

(12) 松河戸の年表

西 暦	元 号	内 容 (松河戸に係のある主なもの)	人 口 (4月1日現在)	戸 数
1958	昭和 33 年	・ 1 月 春日井市は高蔵寺町(23.86km ²)と坂下町(21.26km ²)を合併する。 人口 7 万余、面積 92.71km ² の都市となる。		
1959	昭和 34 年	・ 愛知電機工作所(現愛知電機株)工場が松河戸の南西部(現愛知町)に進出する。 ・ 7 月松河戸に簡易水道供給開始する。 ・ 9 月 26 日伊勢湾台風の被害大きく倒壊した家数件あり		
1960	昭和 35 年	・ 松河戸に古川電機進出する。 ・ 市庁舎が鳥居松工廠跡から鳥居松町 5 の三階建ての庁舎に移転する。	(3932) 937	(910) 207
1961	昭和 36 年	・ 現在の鉄筋コンクリー製の松川橋が完成し、乗合バス路線も開通する ・ 6 月農業基本法成立 ・ 古川電機工場 松河戸の東に進出		
1962	昭和 37 年	・ 11 月十五の森 市指定文化財史跡に指定される。		
1963	昭和 38 年	・ 東海村で原子力発電開始		
1964	昭和 39 年	・ 10 月東海道新幹線開業・10 月東京オリンピック開催・カラーテレビ放送開始 ・ 道風祭(生誕 1070 年祭)時に、小野道風公生誕の碑が建てられる。		
1965	昭和 40 年	・ この頃、集落と愛知電機(株)の間に多くの工場が進出 ・ 名神高速道路前線開通	(5040) 1919	(1157) 359
1966	昭和 41 年	・ 名古屋から多治見間の複線電化完成する。		
1968	昭和 43 年	・ 春日井インターチェンジ開通する。・高蔵寺ニュータウン入居開始 ・ 富士特殊加美業(株)の工場廃液による農産物被害が起こる。		
1969	昭和 44 年	・ 松河戸に市上水が供給開始する。・観音寺に親子地蔵が建立される。		
1970	昭和 45 年	・ 大阪万国博覧会 ・ 小野保育園開園 ・ 政府の減反政策	(5289) 2247	(1351) 488
1972	昭和 47 年	・ 9 月日中国交回復 ・ 墓地の埋蔵が出来なくなり火葬場へ移行 ・ 5 月 15 日 沖縄返還		
1973	昭和 48 年	・ 変動相場制 ・ 第一次オイルショック		
1978	昭和 53 年	・ 「小野」が松河戸町から分離する。 ・ 第二次オイルショック	2194	790
1979	昭和 54 年	・ 松河戸変電所新設(小野町 2 丁目)		
1980	昭和 55 年	・ 「愛知」、「細木」、「町田」が松河戸町から分離する。(※よって人口・世帯減少)	(5734) 1819	(1847) 594
1981	昭和 56 年	・ 11 月道風記念館が開館する。ふれあいの家(記念館併設)完成	1777	568
1982	昭和 57 年	・ 道風の書臨書作品展始まる ・ 高蔵ニュータウン完成	1752	555
1983	昭和 58 年	・ 9 月区画整理について 1 回目の説明会(組合施行)。 10 月区画整備研究会の発足	1713	523
1985	昭和 60 年	・ 南部浄化センターの設置が決まる。・消防署南出張所が開所 道風祭(生誕 1091 年祭)時に、第 1 回野外大揮毫大会が始められる。	1638	530
1987	昭和 62 年	・ 観音寺公民館完成	1565	495
1988	昭和 63 年	・ 7 月区画整理を組合施行から市施行に変更の要望書提出する。9 月市施行決まる。	1537	490
1989	昭和 64 年	・ 1 月 7 日昭和天皇崩御 1 月 8 日から平成となる。		
1990	平成 2 年	・ バブル経済始まる。新市庁舎がオープン	1487	489
1991	平成 3 年	・ 3 月市施行の区画整理事業決定 ・ 南部ふれあいセンター開所	1479	505
1992	平成 4 年	・ 4 月市施行による松河戸の区画整理事業始まる。	1432	489
1993	平成 5 年	・ 2 月国道 302 号線(環状 2 号線)開通 ・ 松河戸の農作業(水田)この年で終了(11 月最後の獲り入れ)	1388	459
1994	平成 6 年	・ 11 月道風祭時に(道風公生誕 1100 年祭)が盛大に行われる。	1343	460
1995	平成 7 年	・ 1 月阪神淡路大震災	1302	451
1996	平成 8 年	・ 松河戸遺跡の発掘調査始まる。 ・ バブル経済の終焉	1289	451
1998	平成 10 年	・ 南部浄化センター完成 ・ 松河戸遺跡調査終了 ・ 9 月 22 日の台風 7 号で白山神社の木が多数倒れる。	1526	574

(12) 松河戸の年表

西 暦	元 号	内 容 (松河戸に関係のある主なもの)	人 口 (4月1日現在)	戸 数
2000	平成 12 年	・ 9 月東海豪雨	1693	646
2001	平成 13 年	・ 春日井が人口 30 万人の特例市となる。 ・ アメリカで同時多発テロ ・ 7 月産業廃棄物処理施設建設反対運動が起きる。	1736	654
2002	平成 14 年	・ かすがいシティバス運行開始	1826	697
2003	平成 15 年	・ イラク戦争	1909	730
2008	平成 20 年	・ 松河戸公民館が完成する。		
2009	平成 21 年	・ リーマンショック 世界金融危機	2226	866
2010	平成 22 年	・ 9 月産業廃棄物処理施設建設反対運動勝利する。	2283	868
2011	平成 23 年	・ 3 月東日本大震災 福島第一原子力発電所事故、小野社移転完了	2294	879
2016	平成 28 年	・ 9 月松河戸の丁目番地決定。11 月に 24 年間にわたる区画整理事業が終了	2890	1148
2017	平成 29 年	・ 10 月区画整理事業の竣工式が道風公園で行われる。	2925	1176
2018	平成 30 年	・ 4 月松河戸の島がなくなり、新しい区会がスタートする。	2973	1203
2019	平成 31 年	・ 5 月 1 日に元号が令和となる。	3012	1214
2020	令和 2 年	・ 3 月～新型コロナウイルスにより区会の自粛を余儀なくされる。	3064	1250
2021	令和 3 年	・ 7 月東京オリンピック(2020)開催	3117	1298

- ・ 日本では明治 5 年 12 月 2 日 (1872 年 12 月 31 日) まで太陰太陽暦 (旧暦) を採用していたため、西暦とはずれが生じる。
- ・ 慶応 4 年 9 月 8 日より明治に改元したが、「慶応 4 年をもって明治元年とする」としているため旧暦 1 月 1 日に遡って適用される。
なお慶応 4 年 9 月 8 日は西暦で 1868 年 10 月 23 日である。
- ・ 松河戸地域の範囲が戦後変更されているので人口・戸数については注意
 - ※ 戦前まで地域範囲(000)
 - ※ 昭和 23 年～54 年の地域範囲 000
 - ※ 昭和 55 年以降の地域範囲 000

松河戸文化科学探求隊
 隊長 長谷川 浩
 080-3657-7052
 松河戸町の沿革ホームページ
<http://matsukawado.com/>